

ちなもい

～ 二中人権だより ～

2024. 7. 19

第3号

八代市立第二中学校
(文責 楠本・吉本)

おしく過ごすために「共に」できることを

校内人権集会より

7月17日水曜日、4時間目、校内人権集会が行われました。以下、人権委員会からのメッセージです。

「共」と選んだ理由は、よりよく全員が過ごしやすい二中をみなさんと「共に」作り上げていきたいと思ったからです。皆さんの学年・クラス、または部活動などではその場の全員が過ごしやすい、全員が楽しい環境が作れていますか？

誰かを馬鹿にして楽しんだり、誰かの我慢を当たり前と思って自分勝手な行動をして周りに迷惑をかけたりにしてしまっている。そんな建前だけの「たのしい学校」になっていませんか？

そんな楽しさは「ほんとうの楽しさ」ではないと思います。本当の楽しさとは、みんなが自分の意見を怖がらず、堂々と言え、そんな学校だと私は思います。人が何か言ったときにそれを否定ばかりするのではなく、そんな意見こそ自分の中で考え、分かり合うことが大切だと思います。先ほどのクラスのいいところや改善していきたいところの発表を聞いても分かる通り、まだまだこの学校には暴言・暴力があり、周りに迷惑をかけている人がいます。しかし、分かり合えれば改善できていくのではないのでしょうか？

さらに、今、「自分はちゃんとしているから大丈夫！」「そんなの本人だけが気を付ければいいんだよ！」「暴言・暴力の被害にあっている人はかわいそうだな」と思っている人もいるのではないのでしょうか？むしろそんな人こそこれから変わっていくべきなのです。

確かに自分がちゃんとするのは大切だし、本人が気を付ければいいことに感じるかもしれませんが、しかし、そういう考えの人も人ごとだと思わずに同じ学校なのだから自分事と考え、見て見ぬふりをするのではなく、自分ができる行動を起こすべきなのです。

ひとりにできることはとても小さいし、そういうことが難しい人もいるかもしれませんが、しかし、どんなに小さい事でも行動を起こすことが一番大切なことだし、一番勇気がいることで、一番勇気がいることを思っても自分から行動できないような人がいると思います。その人たちに勇気を与えられる存在になってください。

どんなことでも、最初の人の行動が一番勇気がいることなのです。しかしそっと見ているだけでは状況は何も変わりません。二中の皆さんには最初の行動を起こせる勇気ある人になってほしいのです。例えば、辛そうにしている人に「大丈夫？」と声をかけるだけでも言われた人の気持ちは変わってくるし、おかしいと思ったことをおかしいといえるようになることも、とても勇気がいることです。もし小さい事でも、行動を起こすことに意味があると私は思います。

全員が我慢せずに生きていくことは、ほぼ不可能に近いです。だからこそ、全員が相手のことを思いやったり、お互いに譲り合ったりし、少しの我慢はあっても、楽しい生活、つまり自分の意見を堂々と伝える、お互いに歩み寄っていきける生活を目指していく事は大切です。私たち八代二中は、この「共」という字を掲げ、一人ではなくみんなて共に全員が楽しいと思える世界一の学校を目指していきましょう。



人権委員による「人権クイズ」のようす



2024 部落差別をはじめすべての差別をなくす 人権 子ども集会・フェスティバル inやつしろ

7月11日木曜日、西宮上日置集会所にて、今年度、1回目の児童・生徒実行委員会が開かれ、二中からは人権委員5名が参加しました。人権子ども集会の目的について説明があった後、グループに分かれて、学校生活や人との関わりの中で日頃感じていることや集会アピール案について、話し合いました。12月8日の開催に向けて、今後、協議しながら準備が進められていきます。



毎月11日は、人権を確かめあう日です

2024. 7. 17 (水) 校内人権集会

人権委員会からのメッセージ

発表者：堀 太一朗さん

「共」と選んだ理由は、よりよく全員が過ごしやすい二中をみなさんと「共に」つくり上げていきたいと思ったからです。皆さんの学年・クラス、または部活動などではその場の全員が過ごしやすい、全員が楽しい環境ができていますか？

誰かを馬鹿にして楽しんだり、誰かの我慢を当たり前と思って自分勝手な行動をして周りに迷惑をかけたりしてしまっている。そんな建前だけの「たのしい学校」になっていませんか？

そんな楽しさは「ほんとうの楽しさ」ではないと思います。本当の楽しさとは、みんなが自分の意見を怖がらず、堂々と言え、そんな学校だと私は思います。人が何か言ったときにそれを否定ばかりするのではなく、そんな意見こそ自分の中で考え、分かり合えることが大切だと思います。先ほどのクラスのいいところや改善していきたいところの発表を聞いても分かる通り、まだまだこの学校には暴言・暴力があり、周りに迷惑をかけている人がいます。しかし、分かり合えれば改善できていくのではないのでしょうか？

さらに、今、「自分はちゃんとしているから大丈夫！」「そんなの本人だけが気を付ければいいんだよ！」「暴言・暴力の被害にあっている人はかわいそうだな」と思っている人もいるのではないのでしょうか？むしろそんな人こそこれから変わっていくべきなのです。

確かに自分がちゃんとするのは大切だし、本人が気をつければいいことに感じるかもしれませんが、しかし、そういう考えの人も人ごとだと思わずに同じ学校なのだから自分事と考え、見て見ぬふりをするのではなく、自分ができる行動を起こすべきなのです。

ひとりにできることはとても小さいし、そういうことが難しい人もいるかもしれませんが、しかし、どんなに小さい事でも行動を起こすことが一番大切なことだし、一番勇気があることです。しかし、一人だと思わないでください、周りには同じことを思っても自分から行動できないような人がいると思います。その人たちに勇気を与えられる存在になってください。

どんなことでも、最初の人行動が一番勇気があることなのです。しかし、そっと見ているだけでは状況は何も変わりません。二中の皆さんには最初の行動を起こせる勇気ある人になってほしいのです。例えば、辛そうにしている人に「大丈夫？」と声をかけるだけでも言われた人の気持ちは変わってくるし、おかしいと思ったことをおかしいといえるようになることも、とても勇気があることです。もし小さい事でも、行動を起こすことに意味があると私は思います。

全員が我慢せずに生きていくことは、ほぼ不可能に近いです。だからこそ、全員が相手のことを思いやったり、お互いに譲り合ったりし、少しの我慢があっても、楽しい生活、つまり自分の意見を堂々と言え、お互いに歩み寄っていきける生活を目指していく事は大切です。私たち八代二中は、この「共」という字を掲げ、一人ではなくみんなと共に全員が楽しいと思える世界一の学校を目指していきましょう。

以上です。